

一筆方式から収入保険へ

兼業で水稻「あきさかり」を約55㍏栽培しています。昨年までは水稻共済の一筆方式に加入していましたが、その一筆方式が廃止になるということで、令和3年1月から収入保険に加入しています。

NOSAIの職員から説明を受ける中で、収入保険はけがや体調不良で作業ができず収入が減少した時にも補償してもらえるということが、一番の決め手でした。今は夫婦二人で作業していますが、自分がけがをした時などのために、加入しておかなければと思いました。

青色申告は以前からしていたので、その数字で保険金などを算出するというのも分かりやすいと感じています。米の価格が安くなることも心配なので、その点もポイントです。

最近では、品種を変えてみたり、堆肥を入れてみたりで、収量が増えています。収入保険は、過去の実績だけでなく、そのような実態も考慮し、基準収入金額を算定してもらえます。

父から引き継ぎ、30年以上米作りをしています。電気柵などイノシシ対策をし、地域的にも災害が少ないため、これまで共済金をもらうような被害はありませんでしたが、農業は天候に左右される産業なので、保険はお守りだと思っています。



(広報紙「NOSAI広島」2021年 第29号より)

三原市大和町 是盛 孝昭さん (74歳)